

一般社団法人

日本マイクロレデンシャル機構について

1. 設立の背景と趣旨

- 現代社会において、急速に変化する労働市場や技術革新に対応するため、従来の学位制度に加え、柔軟かつ多様な学習成果の証明手段として「マイクロクレデンシャル (Micro-credentials)」への関心が世界で高まりつつあり、UNESCOやOECD、EU諸国をはじめとした国際機関や政府がその重要性を認識し、標準化と認証の枠組みを推進しており、タイやオーストラリアなどのアジア太平洋地域においても同様の動きが進行している。
- 一方、日本においては、マイクロクレデンシャルの取り組みを始めているものの学修成果の信頼性確保、国際的互換性の担保、社会的な認知度の向上といった課題が依然として残っている。
- こうした状況を踏まえ、国内におけるマイクロクレデンシャルの質保証・標準仕様の策定と外部認証制度の構築を推進するため、民間・教育界・学術界・産業界の有識者が連携し、公益の立場で運営する一般社団法人を設立するに至った。

2. 事業内容

1) マイクロクレデンシャルの仕様・標準の策定および普及

- ・ UNESCOなど国際機関のガイドラインを踏まえた国内仕様の開発
- ・ デジタル証明（Open Badge等）との連携設計

2) 第三者によるマイクロクレデンシャルの外部認証制度の構築・運営

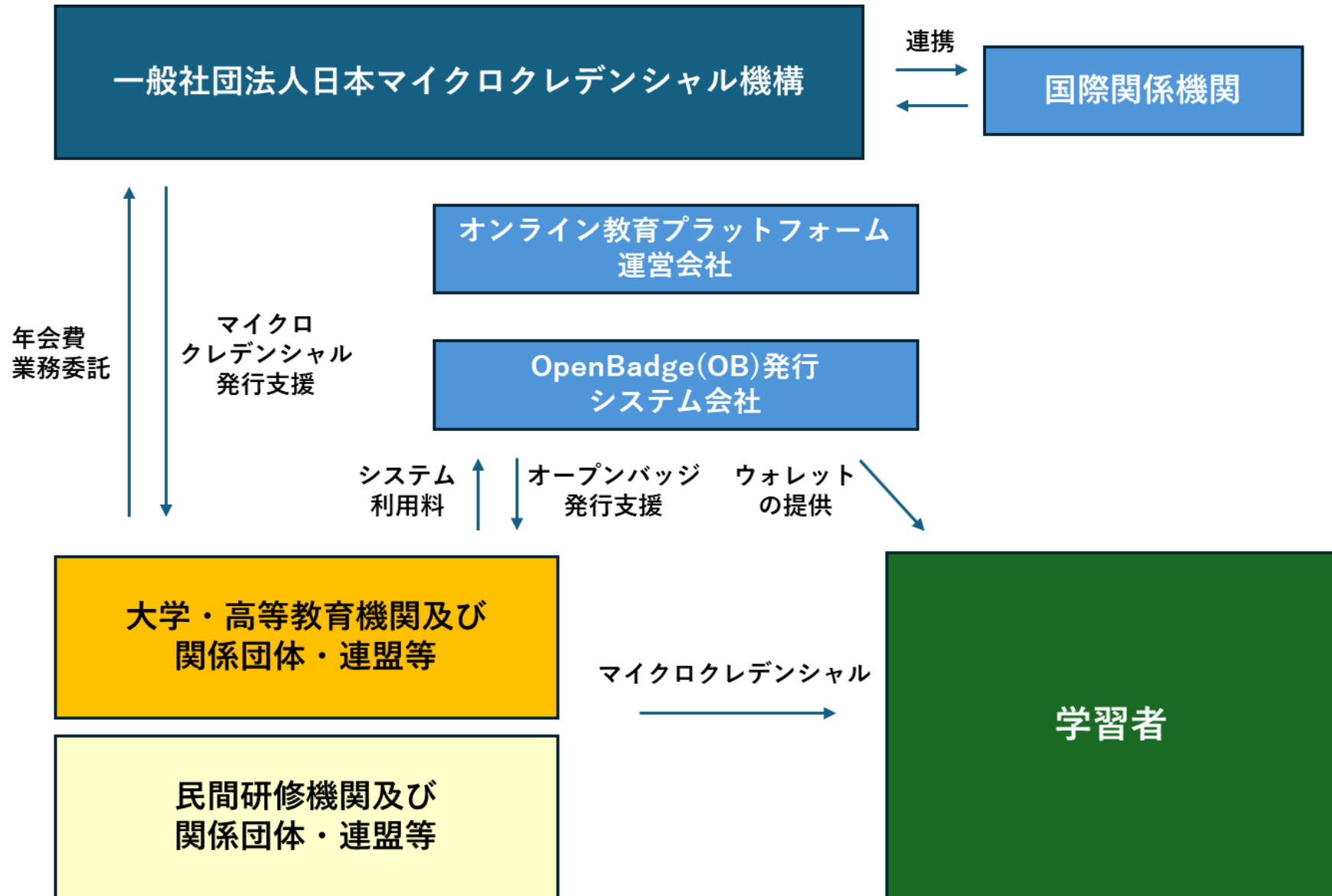
- ・ 教育機関・企業等が発行するプログラムへの審査・認証
- ・ 公正かつ透明な認証プロセスの整備
- ・ 認証マーク・登録制度の管理

3) マイクロクレデンシャルの可視化・流通促進

- ・ 資格枠組み（NQF）、スキル標準、職能フレームワークへのマイクロクレデンシャルの体系的なマッピング
- ・ 取得者の学習成果の記録・ポートフォリオ支援
- ・ 企業や社会への認知・活用支援

4) 政策提言および国際連携の推進

- ・ 日本国内の制度整備に向けた調査・政府への提言
- ・ アジア太平洋地域を中心とした標準共有・相互承認の促進



3. 社団法人設立後の運営体制（案）

理事会
事業運営委員会

標準化WG（フレームワーク・ガイドライン）

質保証・認定WG

レジストリー構築WG

渉外WG（国際連携・産学連携）

4. 準備委員会アジェンダ (3か月間のアクションアイテム)

1. 組織体制（理事、委員会体制）
2. 事業運営スケジュール
3. 法人登記（定款、規程類）
4. 事業予算
5. プロモーションツール（ホームページ等）

5. 設立発起人

青木	久美子	青木	孝文	赤堀	侃司	芦沢	真五	飯吉	透
池田	佳子	石坂	誠	石原	昇	井上	雅裕	岩本	隆
江川	淳一	太田	浩	大庭	良介	岡田	祥成	大工原	孝
小澤	弘明	小野	成志	川口	泰司	川原	洋	岸田	徹
喜多	一	木下	泰三	栗山	健	神武	直彦	児玉	靖司
小林	浩	小林	由昭	小宮山	勝也	近藤	智嗣	阪井	和男
坂口	菊恵	佐藤	周行	佐藤	昌宏	下川	和男	白井	克彦
真銅	正宏	鈴木	茂哉	田浦	健次朗	高木	淑美	丹	康雄
長岡	千香子	永田	恭介	中武	繁寿	中田	康宏	野田	文香
埜	弘明	橋田	浩一	長谷川	亘	秦	隆博	深澤	良彰
藤井	雅徳	富士	榮	堀	真寿美	堀	有喜衣	松嶋	敏泰
松村	直樹	三好	昌己	村上	雅人	村上	正行	森田	裕介
山田	恒夫	鎗水	徹	吉田	俊明	米澤	彰純		

敬称略、五十音順